



世界がぎゅ〜っと、
おおいずみ。

ダブルリミテッド

～多文化でゆれる子供たち～



講師 高野 祥子 氏
大泉町観光協会 理事

NPO大泉国際教育技術普及センター 理事長

- 1945年 中国 天津生まれ
- 1991年 有限会社大泉日伯センター設立 代表取締役 (日本語教室、翻訳、通訳、相談窓口をスタート)
- 1996年 日本語教室になじめないブラジル児童たちの受け皿として日伯学園をスタート
- 2001年 NPO大泉国際教育技術普及センターを設立 (※以下に説明文あり)
- 2008年 国際交流基金より地球市民賞受賞
- 2016年 インターナショナルプレスよりIPC賞受賞
- 2017年 大泉町より功労賞受賞
- 2017年 ブラジル・ビジネスプレスアワード賞受賞

※NPO大泉国際教育技術普及センターは、市民参加、相互扶助の精神のもと、すべての日本人および日本で生活をする外国人に対し、各種語学の指導、社会教育その他教養を得る機会の提供、産業技術を習得する機会の提供、文化の指導・交流、生活上必要な助言・情報提供・相談などを行うことを通じて、子供の健全育成、外国人の地域社会への参加を図り、外国人と日本人の真の共生を促進し、国際交流に寄与することを目的として設立。

「義を見てせざるは勇なきなり」と
鹿児島出身の父からいつも言われて育つ
その言葉がいつも頭の隅にあり、
お節介このうえない (笑)

出稼ぎ当初、理不尽に弱い者いじめを
する日本人上司からガミガミと言われて
いる日系人をかばい、上司と口論。

日本人とブラジル人夫婦の喧嘩の
仲裁に入る。離婚寸前だった夫婦だが、
現在も仲良く生活している。

① 2019年 11月 1日(金)

② 2020年 3月 6日(金)

(同じ内容の講演となります)

時 間

13:30～15:30

聴講費

2,000円

定 員

30名

場 所

ブラジリアンプラザ

(群馬県邑楽郡大泉町西小泉 4-11-22)

1991年にオープンした日本語教室は出稼ぎ日系人の鬱憤を晴らす場所と化し、夜10時まで賑わった。もう話せば尽きない四方山話の数々。現在頭を痛めていることは、大泉町の小中学校に通っている約500名の外国籍児童のダブルリミテッド。その中の何パーセントの子どもたちが日本語か母語をまともに話せるのだろうか??こちらの心配が徒労に終わるブラジル人の陽気さに救われる?!お節介な私としてはとても複雑な思いである

主催 大泉町観光協会

お申込み・お問合せ

TEL 0276-61-2038

FAX 0276-61-3078

日 程	11/1・3/6 どちらかに○
氏 名	
住 所	
T E L	
所 属	大学名など